

調査⑤ 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査（速報）

1 主な調査結果の抜粋（全体結果）

〔基本属性〕

- ・ 年齢では、「30代」が5.0%（前回：6.9%）、「40代」が23.8%（前回：24.5%）、「50代」が34.7%（前回：43.1%）、「60代」が32.7%（前回：21.6%）、「70代」が4.0%（前回：3.9%）となっている。（問2）
- ・ ケアマネジャー業務の経験年数では、「1年未満」が4.0%（前回：1.0%）、「1年以上3年未満」が6.9%（前回：8.8%）、「3年以上5年未満」が4.0%（前回：6.9%）、「5年以上7年未満」が11.9%（前回：17.6%）、「7年以上」が73.3%（前回：65.7%）となっている。（問4）

〔ケアプランの作成状況〕

- ・ ケアプランを作成する際、困っていることでは、「身寄りがいない（64.4%）」（前回：52.0%）が最も多く、「要介護者と家族の考えが異なる（56.4%）」（前回：54.9%）、「キーパーソンがいない（53.5%）」（前回：44.1%）が続いている。（問9）

〔担当地域におけるサービスの状況〕

- ・ 量的に不足しているサービスでは、「訪問介護（26.7%）」（前回：17.6%）が最も多く、「夜間対応型訪問介護（22.8%）」（前回：15.7%）、「通所リハビリテーション（20.8%）」（前回：9.8%）と続いている。一方、「特になし」は11.9%（前回：0.0%）となっている。（問10(1)）
- ・ ケアプランに加えた高齢者保健福祉サービスでは、「日常生活用品（おむつ）の助成（88.4%）」（前回：70.0%）が最も多く、「車いす福祉タクシー（78.3%）」（前回：66.7%）、「理容師・美容師の派遣（68.1%）」（前回：68.9%）が続いている。（問11-1）
- ・ ケアプランに加えたインフォーマルサポートでは、「病院、買い物等への付添い（78.1%）」（前回：50.5%）が最も多く、「配食、共食、季節の調理、食事の付添いなどの支援（67.1%）」（前回：67.0%）、「資産管理などの権利擁護、成年後見制度（57.5%）」（前回：39.2%）が続いている。（問11-4）

〔地域包括支援センター〕

- ・ 地域包括支援センターの役割に対する評価では、「十分果たしていると思う」と「まあまあ果たしていると思う」を合わせた割合は、『カ・介護予防プランを作成する役割（81.2%）』（前回：82.3%）が最も多く、『キ・介護予防講座や教室を開催する役割（79.2%）』（前回：83.3%）、『ア・地域の総合相談窓口としての役割（72.2%）』（前回：78.5%）が続いている。（問15）

〔サービス利用者の在宅医療の状況〕

- ・ 高齢者の在宅療養を進めていくうえで不足している機能では、「在宅療養をしている方の状況変化時に受け入れ可能な入院施設（82.2%）」（前回：81.4%）が最も多く、「訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設（27.7%）」（前回：17.6%）、「一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア（20.8%）」（前回：22.5%）が続いている。（問17）

〔認知症のある利用者のサービス利用〕

- ・ 認知症のある利用者の状況で実際にあることでは、「認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される（62.4%）」（前回：57.8%）が最も多く、「本人や家族が医療機関を受診しない（59.4%）」（前回：55.9%）、「薬の飲み間違いがあって、服薬管理ができない（52.5%）」（前回：60.8%）が続いている。（問 20）
- ・ 認知症のある利用者の支援に必要となることでは、「認知症のある人を支援する社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと（63.4%）」（前回：58.8%）が最も多く、「認知症のある人やその家族に対する支援が充実していくこと（60.4%）」（前回：56.9%）、「認知症の早期診断を担う医療機関が増えていくこと（25.7%）」（前回：24.5%）が続いている。（問 22）

〔医療と介護の連携状況〕

- ・ 医療と介護の連携を図るために必要なことでは、「関係者のためのインターネット上で連絡をとれる仕組みを推進する（54.5%）」が最も多く、「医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ（42.6%）」、「在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する（27.7%）」、「医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する（27.7%）」が続いている。（問 28） ※新規設問

〔ケアマネジャー業務全般〕

- ・ ケアマネジャー業務の中で負担と感ずることでは、「ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと（70.3%）」（前回：57.8%）が最も多く、「夜間や休日の相談対応（43.6%）」（前回 38.2%）、「主治医や医療機関との連絡調整（36.6%）」（前回：39.2%）が続いている。（問 31）
- ・ 府中市内でのケアマネジャー業務の継続意向では、「今後も続けたい（27.7%）」、「できれば続けたい 37.6%」を合わせた割合は 65.3%となっている。一方、「あまり続けたいとは思わない（19.8%）」、「続けたくない（2.0%）」を合わせた割合が 21.8%となっている。（問 33） ※新規設問

〔主なご意見〕

- ・ ケアマネが知っておくべき「医療保険のポイント」のような内容で研修をしてほしい。
- ・ 昨年まで介護保険の制度担当者の方と作り上げたもの（ケアプラン点検や研修）が担当者の異動によりまた一からになったこと。
- ・ MCS の利用の普及を診療所や総合病院、デイサービスにも広がると情報共有が充実すると思います。

2 調査項目一覧

調査項目	問番号	設問	新規
A 基本属性	問1	性別	
	問2	年齢	
	問3	ケアマネジャー以外の所有資格	
	問4	ケアマネジャー業務の経験年数	
	問5	主任ケアマネジャー資格の有無	
	問6	現在の居宅介護支援事業所での在職期間	
B ケアマネジャー業務の 担当状況	問7	勤務形態	
	問7-1	兼務している業務	
C ケアプランの作成 状況	問8	担当している利用者数	
	問8-1	介護予防プランの作成を受託していない理由	
	問8-2	介護予防プランの受託件数を増やすうえでの課題（自由回答）	
	問9	ケアプランを作成する際、困っていること	
D 担当地域 における サービスの 状況	問10(1)	量的に不足しているサービス	
	問10(2)	必要性が高まると思われるサービス	
	問11	介護保険以外のサービスやサポートをケアプランに加えたことがあるか	
	問11-1	ケアプランに加えた高齢者保健福祉サービス	
	問11-2	今後一層の充実が必要と思う高齢者保健福祉サービス	
	問11-3	その理由（自由回答）	
	問11-4	ケアプランに加えたインフォーマルサポート	
	問11-5	今後一層の充実が必要と感じるインフォーマルサポート	
問11-6	その理由（自由回答）		
E サービス 提供事業 所との関 わり	問12	サービス提供事業所に関する情報収集や連絡、調整の方法	
	問12-1	特に行っていない理由（自由回答）	
	問13	情報収集するうえでの課題（自由回答）	
F サービス担 当者会議	問14	サービス担当者会議の開催にあたって困難と感ずること	
G 地域包括支 援センター の役割	問15	地域包括支援センターの役割に対する評価	
H サービス 利用者の 在宅医療 の状況	問16	訪問診療、訪問看護、訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われ る利用者の有無	
	問17	高齢者の在宅療養を進めていくうえで不足している機能	
	問18	医療的ケアが必要な人のショートステイの利用状況	
	問19	在宅医療をささえるうえで必要と思われる支援・サービス（自由回答）	
I 認知症の ある利用 者のサー ビス利 用	問20	認知症の利用者の状況で実際にあること	
	問21	認知症のある利用者の支援にあたってのかかりつけ医との連携	
	問22	認知症のある利用者の支援に必要なこと	

調査項目	問番号	設問	新規
J 医療と介護の連携状況	問23	医療機関やかかりつけ医との情報交換の方法	
	問24	入院時の情報提供書の提出状況	
	問25	医療関係機関（病院（地域連携室）、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーションへの期待（自由回答）	
	問26	医療と介護の連携で苦労していること（自由回答）	
	問27	在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職	
	問28	医療と介護の連携を図るために必要なこと	○
K ケアマネジャー業務全般	問29	自立支援に向けたケアプランの作成状況	
	問29-1	自立支援に向けたケアプランとして意識・工夫していること（自由回答）	
	問29-2	不十分だと思う理由（自由回答）	
	問30	ケアマネジャー業務を行ううえでの課題	
	問31	ケアマネジャー業務の中で負担と感ずること	
	問32	ケアマネジャー業務のレベルアップのために行っている取り組み、今後行いたい取り組み	
	問33	府中市内でのケアマネジャー業務の継続意向	
	問33-1	その理由	
L 自由意見（市への意向）	問34	ケアマネジャーして市に望むこと	
	問35	介護保険制度、医療介護の連携に対する意見・要望（自由回答）	
M 在宅生活の維持	問36	利用者の状況	○
	問37	主な家族等介護者の状況	○
	問38	本人の生活維持、家族等介護者の就労継続が困難になっている理由	○
	問39	本人の生活維持、家族等介護者の就労継続が困難になっている状況を改善するためのサービス利用の変更	○

3 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査 調査票

最初に、あなたのことについておたずねします

問1 あなたの性別※をお答えください。

※性別については、戸籍上の区別とは別にご自身の主観によりご記入ください。(1つに○)(N=101)

1. 男性	22.8%	2. 女性	74.3%	3. その他	0.0%	4. 答えたくない	3.0%
						無回答	0.0%

問2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

(N=101)

1. 20代	0.0%	3. 40代	23.8%	5. 60代	32.7%	無回答	0.0%
2. 30代	5.0%	4. 50代	34.7%	6. 70歳以上	4.0%		

問3 あなたは、介護支援専門員（以下「ケアマネジャー」）以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。(いくつでも○) (N=101)

1. 医師	0.0%	7. 作業療法士	0.0%	13. 精神保健福祉士	4.0%
2. 歯科医師	0.0%	8. 言語聴覚士	0.0%	14. 社会福祉主事	12.9%
3. 薬剤師	0.0%	9. 歯科衛生士	2.0%	15. ホームヘルパー（訪問介護員）	41.6%
4. 保健師	0.0%	10. 栄養士、管理栄養士	1.0%	16. その他	12.9%
5. 看護師、准看護師	2.0%	11. 社会福祉士	15.8%	(具体的に：)	
6. 理学療法士	0.0%	12. 介護福祉士	81.2%	無回答	0.0%

問4 あなたは、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。転職などを行っている場合は、前職なども含めた合計期間で答えてください。(1つに○) (令和7年10月1日時点) (N=101)

1. 1年未満	4.0%	3. 3年以上5年未満	4.0%	5. 7年以上	73.3%
2. 1年以上3年未満	6.9%	4. 5年以上7年未満	11.9%	無回答	0.0%

問5 あなたは、主任ケアマネジャー（主任介護支援専門員）の資格を有していますか。(1つに○) (N=101)

1. ある	39.6%	3. 過去に取得していたが、現在はなし	3.0%
2. ない	57.4%	無回答	0.0%

問6 あなたは、現在の居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして在籍している期間はどのくらいですか。(1つに○) (N=101)

1. 1年未満	11.9%	3. 3年以上5年未満	10.9%	5. 7年以上	47.5%
2. 1年以上3年未満	15.8%	4. 5年以上7年未満	13.9%	無回答	0.0%

ケアマネジャー業務の担当状況についておたずねします

問7 あなたの勤務形態をお答えください。(1つに○) (N=101)

1. 常勤・専従 (→問8へ進む)	67.3%	3. 非常勤・専従 (→問8へ進む)	13.9%
2. 常勤・兼務 (→問7-1へ進む)	16.8%	4. 非常勤・兼務 (→問7-1へ進む)	2.0%
無回答			0.0%

問7で「2」又は「4」と答えた方におたずねします

問7-1 どのような業務を兼務していますか。(いくつでも○) (n=19)

1. 管理・事務	89.5%	3. 介護サービス	10.5%	5. その他(具体的に:)	10.5%
2. 医療系サービス	0.0%	4. 相談業務	0.0%	無回答	0.0%

ケアプランの作成状況についておたずねします

問8 令和7年10月1日現在、あなたが担当している利用者数(一時的入院中などを含め、継続的に関わっている総利用者数)をご記入ください。担当している利用者や件数がない場合には「0」と記入してください。(n=99)

要介護1～5 31.03 人
 要支援1・2 1.84 人
 介護予防・日常生活支援総合事業対象者 0.24 人

問8-1、問8-2について、居宅介護支援事業所の管理者(又は管理者に類する方)におたずねします

問8-1 介護予防プランの作成を受託していない場合、その理由をお答えください。(もっとも当てはまるもの1つに○) (N=101)

1. プラン作成に手間がかかる	12.9%	3. 法人・会社の方針	22.8%
2. 報酬が少ない	13.9%	4. その他(具体的に:)	5.9%
無回答			44.6%

問8-2 介護予防プランの受託件数を増やすうえで課題となることは何ですか。具体的にお書きください。

問9 あなたは、ケアプランを作成する際、どのようなことで困っていますか。(いくつでも○) (N=101)

1. 身寄りがいない	64.4%
2. 要介護者と家族の考えが異なる	56.4%
3. 家族が協力的でない	48.5%
4. キーパーソンがいない	53.5%
5. 認知症のため利用者自身で判断できない	29.7%
6. 費用負担の面で、適切なプランが作成できない	41.6%
7. 介護保険の利用限度額ではサービスが足りない	29.7%
8. 要介護者や家族から提案したプランに同意が得られない	10.9%
9. 介護保険制度への理解が得られにくい	43.6%
10. その他(具体的に：)	13.9%
無回答	1.0%

担当地域におけるサービスの状況についておたずねします

問10 担当している地域で、事業所数もしくは定員など、(1) 量的に不足していると感じるサービス、(2) 今後必要性がより高まると思われるサービスはありますか。

(1) から (2) について、それぞれ3つまで下の1～25より選んで番号を記入) (N=101)

(1) 量的に不足しているサービス			
(2) 今後必要性がより高まると思われるサービス			

1. 訪問介護	26.7%、36.6%	14. 介護老人福祉施設	5.9%、9.9%
2. 訪問看護	0.0%、6.9%	15. 介護老人保健施設	13.9%、10.9%
3. 訪問リハビリテーション	13.9%、6.9%	16. 介護医療院	16.8%、10.9%
4. 訪問入浴介護	5.0%、4.0%	17. 夜間対応型訪問介護	22.8%、20.8%
5. 居宅療養管理指導	1.0%、1.0%	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	18.8%、20.8%
6. 通所介護	7.9%、9.9%	19. 小規模多機能型居宅介護	7.9%、8.9%
7. 通所リハビリテーション	20.8%、9.9%	20. 看護小規模多機能型居宅介護	5.0%、9.9%
8. 短期入所生活介護	8.9%、17.8%	21. 地域密着型通所介護	4.0%、2.0%
9. 短期入所療養介護	12.9%、8.9%	22. 認知症対応型通所介護	12.9%、14.9%
10. 特定施設入居者生活介護	3.0%、2.0%	23. 認知症対応型共同生活介護	6.9%、14.9%
11. 福祉用具の貸与	0.0%、4.0%	24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	
12. 特定福祉用具購入	0.0%、1.0%		1.0%、4.0%
13. 住宅改修費の支給	0.0%、0.0%	25. 特にない	11.9%、8.9%
		無回答	4.0%、1.0%

問 11 あなたは、介護保険サービス以外のサービスやサポートをケアプランに加えたことがありますか。
(いくつでも○) (N=101)

1. 市の高齢者福祉サービスを加えたことがある (→問 11-1 へ進む)	68.3%
2. 市の高齢者福祉サービス以外のインフォーマルサポートを加えたことがある (→問 11-4 へ進む)	72.3%
3. どちらもない (→問 12 へ進む)	8.9%
無回答	1.0%

問 11 で「1」とお答えの方におたずねします

問 11-1 ケアプランに加えた高齢者福祉サービスはどれですか。(いくつでも○) (n=69)

1. バックベッド確保事業	13.0%	6. 寝具乾燥サービス	31.9%
2. 日常生活用具給付とレンタル	17.4%	7. 理容師・美容師の派遣	68.1%
3. はいかい高齢者探索サービス	27.5%	8. 特にない	1.4%
4. 日常生活用品(おむつ)の助成	88.4%	9. その他(具体的に:)	7.2%
5. 車いす福祉タクシー	78.3%	無回答	0.0%

問 11-2 今後一層の充実が必要と感じる高齢者福祉サービスは次のどれですか。(2つまでに○) (n=69)

1. バックベッド確保事業	} →問 11-3 へ進む	37.7%	6. 寝具乾燥サービス	} →問 11-3 へ進む	4.3%
2. 日常生活用具給付とレンタル		2.9%	7. 理容師・美容師の派遣		10.1%
3. はいかい高齢者探索サービス		27.5%	8. 特にない		7.2%
4. 日常生活用品(おむつ)の助成		37.7%	9. その他(→問 11-4 または問 12 へ進む)		
5. 車いす福祉タクシー		36.2%	(具体的に:)		7.2%
			無回答		2.9%

問 11-2 で「1」～「8」とお答えの方におたずねします

問 11-3 その理由を2つまで具体的にお書きください。

問 11-2 で選んだ選択肢番号 ()

問 11-2 で選んだ選択肢番号 ()

→問 11-4 または問 12 へ進む

問 11 で「2」とお答えの方におたずねします

問 11-4 ケアプランに加えたインフォーマルサポートはどのような内容のものですか。

(いくつでも○)

(n=73)

1. 利用者の支給限度額を超えて提供する訪問介護等	47.9%
2. 訪問介護での外出時の乗降介助、散歩などの付添い	41.1%
3. 病院、買物等への付添い	78.1%
4. 移動販売・食材配達	21.9%
5. ふれあいいいききサロン	11.0%
6. コミュニティカフェ	4.1%
7. 話し相手、見守り	41.1%
8. 夜間や日中、利用者の要望に応じた随時対応の支援	39.7%
9. 草むしり、犬の散歩などの介護保険で利用できない支援	20.5%
10. 大掃除、家屋の修繕、園芸、家具の移動などの生活支援	23.3%
11. 配食、共食、季節の調理、食事の付添いなどの支援	67.1%
12. 移送、墓参り等の付添いなど	12.3%
13. 旅行の付添い	2.7%
14. 資産管理などの権利擁護、成年後見制度	57.5%
15. 趣味・娯楽・文化活動支援	23.3%
16. その他（具体的に：)	8.2%
無回答	1.4%

問 11-5 今後一層の充実が必要と感じるインフォーマルサポートは次のどれですか。(2つまでに○)

(n=73)

1. 利用者の支給限度額を超えて提供する訪問介護等	12.3%
2. 訪問介護での外出時の乗降介助、散歩などの付添い	6.8%
3. 病院、買物等への付添い	43.8%
4. 移動販売・食材配達	6.8%
5. ふれあいいいききサロン	1.4%
6. コミュニティカフェ	1.4%
7. 話し相手、見守り	19.2%
8. 夜間や日中、利用者の要望に応じた随時対応の支援	27.4%
9. 草むしり、犬の散歩などの介護保険で利用できない支援	4.1%
10. 大掃除、家屋の修繕、園芸、家具の移動などの生活支援	6.8%
11. 配食、共食、季節の調理、食事の付添いなどの支援	8.2%
12. 移送、墓参り等の付添いなど	1.4%
13. 旅行の付添い	1.4%
14. 資産管理などの権利擁護、成年後見制度	27.4%
15. 趣味・娯楽・文化活動支援	8.2%
16. その他（具体的に：)	1.4%
無回答	6.8%

問 11-5 の回答についておたずねします

問 11-6 その理由を2つまで具体的にお書きください。

問 11-5 で選んだ選択肢番号 ()

問 11-5 で選んだ選択肢番号 ()

サービス提供事業所との関わりについておたずねします

問 12 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。(いくつでも○)

(N=101)

1. サービス提供事業所のパンフレット等の収集	83.2%
2. サービス提供事業所のホームページを閲覧	69.3%
3. 地域単位の事業者情報誌等を閲覧	14.9%
4. 都の介護サービス情報のホームページを閲覧	12.9%
5. 「WAMネット」の事業者情報を閲覧	12.9%
6. 同一地区のサービス提供事業所との定期的な連絡会などに参加	24.8%
7. ケアプラン作成に必要な部分のみを近隣にある特定の事業者に対し 電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整	53.5%
8. サービス提供は原則同一法人内で行うため、 その他の事業者との連絡をとる機会はない	0.0%
9. 地域包括支援センターに問い合わせで情報を得る	13.9%
10. その他(具体的に:)	1.0%
11. 特に行っていない(問 12-1 へ進む)	15.8%
無回答	0.0%

→問 13 へ進む

問 12 で「11. 特に行っていない」とお答えした方におたずねします。

問 12-1 その理由を具体的にお書きください。

問 13 問 12 に関して、情報収集するうえでの課題はありますか。

サービス担当者会議についておたずねします

問 14 サービス担当者会議の開催にあたって、困難と感ずることは何ですか。(いくつでも○) (N=101)

1. 自分の日程調整	31.7%	6. 会場の確保	2.0%
2. サービス事業者との日程調整	75.2%	7. 資料づくり	12.9%
3. 利用者の出席	10.9%	8. 会議の進め方	16.8%
4. 家族の出席	47.5%	9. 感染症への対応	9.9%
5. 主治医の出席	65.3%	10. その他(具体的に:)	6.9%
		無回答	0.0%

地域包括支援センターの役割についておたずねします

問 15 市内の地域包括支援センターは、その役割を果たしていると思いますか。次の各項目についてお答えください。(ア～コのそれぞれ1つに○)

(N=101)	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	どちらともいえない	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない	無回答
ア. 地域の総合相談窓口としての役割	15.8%	56.4%	19.8%	5.9%	2.0%	0.0%
イ. 実態把握等による要援護高齢者の早期発見と対応の役割	7.9%	42.6%	39.6%	6.9%	1.0%	2.0%
ウ. 支援困難事例への個別指導・相談の役割	7.9%	43.6%	23.8%	16.8%	5.9%	2.0%
エ. かかりつけ医(主治医)との連携の役割	4.0%	13.9%	52.5%	19.8%	8.9%	1.0%
オ. 高齢者虐待防止・権利擁護の役割	9.9%	46.5%	29.7%	8.9%	5.0%	0.0%
カ. 介護予防プランを作成する役割	41.6%	39.6%	14.9%	3.0%	1.0%	0.0%
キ. 介護予防講座や教室を開催する役割	37.6%	41.6%	17.8%	1.0%	1.0%	1.0%
ク. ケアマネジャーに対する日常的な個別指導・相談の役割	7.9%	31.7%	34.7%	13.9%	11.9%	0.0%
ケ. 地域におけるケアマネジャーのネットワークづくりの役割	11.9%	34.7%	29.7%	16.8%	5.9%	1.0%
コ. 多職種協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援の役割	7.9%	40.6%	34.7%	10.9%	5.9%	0.0%

サービス利用者の在宅医療の状況についておたずねします

問 16 あなたが担当している利用者の中に、訪問診療、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。(アからエのそれぞれ1つに○) (N=101)

ア. 訪問診療	1. いる 98.0%⇒ (10.84) 人 ⇒ うち実際に受けている (8.85) 人 2. 必要と思われる方はいない 2.0% 無回答 0.0%
イ. 訪問看護	1. いる 99.0%⇒ (13.10) 人 ⇒ うち実際に受けている (11.72) 人 2. 必要と思われる方はいない 1.0% 無回答 0.0%
ウ. 訪問歯科診療	1. いる 91.1%⇒ (6.53) 人 ⇒ うち実際に受けている (4.35) 人 2. 必要と思われる方はいない 5.9% 無回答 3.0%
エ. 訪問服薬管理 指導	1. いる 94.1%⇒ (8.81) 人 ⇒ うち実際に受けている (6.52) 人 2. 必要と思われる方はいない 4.0% 無回答 2.0%

問 17 あなたは、専門職の立場からみて、高齢者の在宅療養を進めていくうえで不足している機能は何だと考えますか。(いくつでも○) (N=101)

1. 訪問診療や往診をしてくれる診療所	11.9%
2. 訪問看護（訪問看護ステーション）	3.0%
3. 訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設	27.7%
4. 一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア	20.8%
5. 在宅療養をしている方の状況変化時に受入可能な入院施設	82.2%
6. その他（具体的に：)	10.9%
無回答	7.9%

問 18 医療的ケア（胃ろう、吸引、インスリン、人工肛門など）が必要な利用者のショートステイ（レスパイト）に関して、どのように対応されていますか。(いくつでも○) (N=101)

1. 介護保険施設にてショートステイを利用	44.6%	4. 市のバックベッド確保事業を利用	18.8%
2. 有料老人ホームのショートステイを利用	14.9%	5. ショートステイを利用していない	16.8%
3. 入院を調整	43.6%	6. その他（具体的に：)	4.0%
		無回答	5.0%

問 19 今後、医療的ケアが必要な在宅療養者が増加することが考えられます。このとき、在宅療養を継続するうえで必要と思われる支援・サービスを具体的にお書きください。

認知症のある利用者のサービス利用についておたずねします

問 20 あなたが担当している認知症のある利用者の状況で、実際にあることは次のどれですか。またそのうち、最も大変なことはどれですか。(いくつでも○、最も大変なことに◎) (N=101)

1. 本人や家族が医療機関を受診しない	59.4%、12.9%
2. 本人の意思の確認がとれない	44.6%、8.9%
3. 家族が認知症であることを認めない	44.6%、9.9%
4. 薬の飲み間違いがあって、服薬管理ができない	52.5%、5.0%
5. 認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる	25.7%、0.0%
6. 認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される	62.4%、18.8%
7. 消費者被害に遭遇している	20.8%、0.0%
8. 虐待を受けている	13.9%、1.0%
9. 本人や家族間で介護の方針が食い違う	43.6%、8.9%
10. 身体疾患があり医療的な管理が難しい	15.8%、2.0%
11. その他（具体的に：)	7.9%、0.0%
無回答	3.0%、32.7%

問 21 あなたは認知症のある利用者の支援にあたって、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(1つに○) (N=101)

1. とれている	5.0%	4. とれていない	3.0%
2. まあまあとれている	42.6%	5. どちらともいえない	16.8%
3. あまりとれていない	30.7%	無回答	2.0%

問 22 これから認知症のある利用者の支援にあたり必要になると思うことは、次のどれですか。
(3つまでに○) (N=101)

1. 認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること	21.8%
2. 認知症のある人を支援する社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと	63.4%
3. 認知症の早期診断を担う医療機関が増えていくこと	25.7%
4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること	10.9%
5. かかりつけ医やケアマネジャーの認知症に対する理解と対応力が向上すること	21.8%
6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと	15.8%
7. 地域ケア会議などの専門的な支援体制が充実すること	8.9%
8. 認知症初期集中支援チームなどにより早期からアセスメントや支援が行われること	12.9%
9. 認知症のある人やその家族に対する支援が充実していくこと	60.4%
10. その他（具体的に：)	9.9%
無回答	2.0%

医療と介護の連携の状況についておたずねします

問 23 医療機関やかかりつけ医と通常どのような方法で情報を交換していますか。(いくつでも○)
(N=101)

1. 電話	89.1%	5. 訪問診療への同席	68.3%	9. その他	34.7%
2. FAX	54.5%	6. サービス担当者会議	17.8%	(具体的に：)	
3. メール	30.7%	7. 直接訪問	10.9%	無回答	1.0%
4. 診察への同行	40.6%	8. オンライン	17.8%		

問 24 あなたは、利用者が入院する際に、どれくらいの頻度で情報提供書を作成し、入院先へ提供していますか。(1つに○)
(N=101)

1. ほとんど提出している (81%~100%)	21.8%	4. あまり提出していない (21%~40%)	16.8%
2. 概ね提出している (61%~80%)	25.7%	5. ほとんど提出していない (0%~20%)	22.8%
3. 半分くらい提出している (41%~60%)	7.9%	無回答	5.0%

問 25 あなたは、医療関係機関（病院（地域連携室）、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション）にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的にお書きください。

病院 (地域連携室)	
診療所	
歯科診療所	
薬局	
訪問看護ステーション	

ケアマネジャー業務全般についておたずねします

問 29 あなたは、利用者の自立支援に向けたケアプランの作成が十分にできていると思いますか。
(1つに○) (N=101)

1. 思う (→問 29-1 へ進む)	7.9%
2. 少しは思う (→問 29-1 へ進む)	66.3%
3. あまり思わない (→問 29-2 へ進む)	14.9%
4. 思わない (→問 29-2 へ進む)	1.0%
5. どちらともいえない (→問 30 へ進む)	8.9%
無回答	1.0%

問 29 で「1」又は「2」とお答えの方におたずねします

問 29-1 自立支援に向けたケアプランとなるように意識していることや、自立支援につなげるために工夫していることについて具体的にご記入ください。

問 29 で「3」又は「4」とお答えの方におたずねします

問 29-2 そのように思う理由について具体的にご記入ください。

問 30 ケアマネジャー業務を行ううえで、課題としてお考えのことはどのようなことですか。
(いくつでも○)

(N=101)

1. 市内にインフォーマルサポートの種類が少ない	47.5%
2. サービス提供事業者に関する情報が少ない	17.8%
3. 利用者及び家族にサービスの必要性を理解してもらうための対応方法が分からない	12.9%
4. 忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない	24.8%
5. 多問題事例のケアマネジメントの方法が分からない	17.8%
6. 認知症ケアの方法が分からない	2.0%
7. 医療機関との連携がうまくとれない	16.8%
8. 相談する人が身近にいない	6.9%
9. 所属している事業所の関連事業者からのサービスに偏る	5.0%
10. 資格更新のための日程調整・研修費用が十分でない	27.7%
11. その他（具体的に：)	17.8%
無回答	6.9%

問 31 ケアマネジャー業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。(いくつでも○) (N=101)

1. 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意	23.8%
2. 課題分析のための居宅訪問・面接	22.8%
3. サービス担当者会議の開催・調整	35.6%
4. ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意	5.9%
5. ケアプランの交付（書類の作成など）	22.8%
6. 状況確認のための毎月の居宅訪問・面接	21.8%
7. 主治医や医療機関との連絡調整	36.6%
8. 利用者や事業者の苦情対応	35.6%
9. 要介護認定などの申請代行	15.8%
10. 介護報酬請求事務	14.9%
11. 夜間や休日の相談対応	43.6%
12. ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと	70.3%
13. 特に負担に感じることはない	5.0%
14. その他（具体的に：)	16.8%
無回答	2.0%

問 32 ご自身のケアマネジャー業務のレベルアップのために、(1) 現在行っている、(2) 今後行いたい取組は何ですか。((1) から (2) のそれぞれ2つまで)

(1) 現在行っている取組 (N=101)

1. 自主的な勉強会の実施・参加	25.7%
2. 居宅介護支援事業者連絡会や地域包括支援センターのケアマネ支援事業への積極的参加	53.5%
3. ケースカンファレンス等で具体的な検討を通して助言を受ける	13.9%
4. 事業所内の研修への積極的な参加	32.7%
5. 外部研修への積極的な参加	29.7%
6. 参考書などからの知識や情報の収集	8.9%
7. 特に行っていない	4.0%
8. その他 (具体的に：)	3.0%
無回答	2.0%

(2) 今後行いたい取組 (N=101)

1. 自主的な勉強会の実施・参加	21.8%
2. 居宅介護支援事業者連絡会や地域包括支援センターのケアマネ支援事業への積極的参加	29.7%
3. ケースカンファレンス等で具体的な検討を通して助言を受ける	24.8%
4. 事業所内の研修への積極的な参加	8.9%
5. 外部研修への積極的な参加	49.5%
6. 参考書などからの知識や情報の収集	13.9%
7. 特に行っていない	3.0%
8. その他 (具体的に：)	4.0%
無回答	3.0%

問 33 あなたは、今後も府中市内の居宅介護支援事業所でケアマネジャー業務を続けたいと思いますか。(1つに○) (N=101)

1. 今後も続けたい	27.7%
2. できれば続けたい	37.6%
3. あまり続けたいとは思わない	19.8%
4. 続けたくない	2.0%
5. 分からない	11.9%
無回答	1.0%

問 33-1 そのように思う理由について具体的にご記入ください。

<hr/> <hr/>

府中市への意向についておたずねします

問 34 今後、保険者としての府中市に対し、ケアマネジャーとして望むことは何ですか。(2つまでに○)
(N=101)

1. 介護保険に関する情報提供、研修の実施	30.7%
2. 質の向上のために事業者が行う研修への支援	9.9%
3. 不正な事業者への指導	3.0%
4. 利用者への適正なサービス利用の啓発	31.7%
5. 地域包括支援センター機能の充実	25.7%
6. 市と事業者間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催	17.8%
7. 制度運営における保険者判断部分の周知	35.6%
8. 特にない	3.0%
9. その他（具体的に：)	15.8%
無回答	2.0%

問 35 介護保険制度をよりよい制度としていくためのご意見や医療と介護の連携についてのご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

合計：45件

ここからは、あなたが担当している利用者で、在宅生活の維持が難しくなっている方についてお尋ねします

自宅にお住まいの方のうち「現在のサービス利用では、在宅生活の維持が難しくなっている利用者」もしくは「家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者」が対象です。※最大5人までご回答ください。(N=211)

問 36. 対象となる利用者の状況等について、お伺いします。					問 37. 対象となる利用者の主な家族等介護者の状況等について、お伺いします。			
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	
「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」に該当しますか。	「家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者」に該当しますか。	世帯類型	現在の居所	要支援・要介護度	主な家族等介護者の方の年代 ※同居・別居にかかわらず主な家族等介護者についてお答えください。	主な家族等介護者の方の現在の勤務形態 ※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。	今後の在宅生活の継続、または家族等介護者の就労継続に向けて、特に家族等介護者の負担になっている介護	
番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	番号1つ選択記入	あてはまる番号3つまで選択記入	
1. はい 89.6% 2. いいえ 10.4% 無回答 0.0%	1. はい 36.5% 2. いいえ 61.1% 無回答 2.4%	1. 独居 45.5% 2. 夫婦のみ 18.5% 3. 単身の子どもとの同居 22.3% 4. その他の同居 12.8% 無回答 0.9%	1. 自宅等 95.7% 2. 住宅型有料 1.4% 3. サ高住 2.4% 4. 軽費老人ホーム 0.0% 無回答 0.5%	1. 要支援1 3.8% 2. 要支援2 0.9% 3. 要介護1 26.1% 4. 要介護2 22.7% 5. 要介護3 18.5% 6. 要介護4 18.0% 7. 要介護5 9.5% 8. 新規申請中 0.0% 無回答 0.5%	1. 20歳未満 0.0% 2. 20代 0.5% 3. 30代 1.4% 4. 40代 9.0% 5. 50代 28.9% 6. 60代 26.1% 7. 70代 9.5% 8. 80歳以上 12.3% 9. わからない 2.4% 10. (別居している家族も含め)家族等介護者はない 9.5% ⇒問38に進んでください 無回答 0.5%	1. フルタイムで働いている 35.8% 2. パートタイムで働いている 13.7% 3. 勤務形態は不明だが、働いている 14.7% 4. 働いていない 34.2% 5. 主な介護者に確認しないと、分からない 0.5% 無回答 1.1%	1. 日中の排泄 26.8% 2. 夜間の排泄 25.3% 3. 食事の介助(食べる時) 13.2% 4. 入浴・洗身 17.4% 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 7.9% 6. 衣服の着脱 6.3% 7. 屋内の移乗・移動 14.7% 8. 外出の付き添い、送迎等 32.1% 9. 服薬 20.0% 10. 認知症の症状への対応 44.2% 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) 7.9% 12. 食事の準備(調理等) 19.5% 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) 22.6% 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 26.8% 15. その他 10.5% 16. 特にない 1.1% 17. 主な介護者に確認しないと、分からない 2.1% 無回答 2.1%	
記入例	1	2	1	1	3	6	2	4, 7, 14
1人目								
2人目								
3人目								
4人目								
5人目								

問 38. 現在のサービス利用では、本人の生活の維持、もしくは家族等介護者の就労継続が難しくなっている理由等について、お伺いします。		問 39. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」もしくは「家族等介護者の就労継続が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お伺いします。	
(1)	(2)	(1)	
該当の利用者が抱えている生活課題をお答えください。	本人の生活の維持、もしくは家族等介護者の就労継続のために、充実が必要な「生活支援」をお答えください。	本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください。	
		<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>※実際にサービスがあるかないかに関わらず、利用者・家族等介護者にとって適切と思うサービスを選択してください。</p> <p>どちらでも良い場合は、<在宅サービス><住まい・施設等>の両方から複数選択することも可能です。</p> </div>	
あてはまる番号 すべて選択記入	あてはまる番号 すべて選択記入	あてはまる番号 すべて選択記入	
1. 該当なし 4.3% 2. ひとり暮らしで連絡が取りにくい 16.6% 3. 認知症の症状の悪化 44.5% 4. 胃ろうなどの医療処置を受けている 7.6% 5. 病識がなくサービスの拒否がある 27.0% 6. 個別サービス計画の内容について本人と家族からの理解が得られない 4.7% 7. 個別サービス計画の内容について本人と家族の意見が合わない 5.2% 8. 必要なサービスが不足してサービスが受けられない 13.3% 9. 家族に障害や精神疾患がある 10.4% 10. 老々介護、認認介護などの世帯 13.3% 11. 虐待を受けている、又はその疑いがある 7.1% 12. 消費者被害や詐欺被害を受けている又はその疑いがある 0.9% 13. 飲酒や喫煙など生活面で問題がある 6.6% 14. 経済に困窮している 20.9% 15. 住宅に困窮している 7.6% 16. 利用料を滞納している 1.4% 17. その他 13.7% 18. 特になし 2.4% 無回答 4.7%	1. 配食 26.5% 2. 調理 17.5% 3. 掃除・洗濯 24.2% 4. 買い物 22.3% (宅配は含まない) 5. ゴミ出し 22.3% 6. 外出同行 34.6% (通院、買い物など) 7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等) 20.4% 8. 見守り、声かけ 45.0% 9. サロンなどの定期的な通いの場 6.2% 10. その他 19.4% 11. 特になし 7.6% 無回答 4.3%	<在宅サービス> 1. ショートステイ 51.7% 2. 訪問介護、訪問入浴 34.6% 3. 夜間対応型訪問介護 10.9% 4. 訪問看護 24.2% 5. 訪問リハ 7.1% 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 26.1% 7. 定期巡回サービス 11.4% 8. 小規模多機能 9.0% 9. 看護小規模多機能 3.8% 10. 訪問診療 20.9% 11. 居宅療養管理指導 17.5%	<住まい・施設等> 12. 住宅型有料 18.0% 13. サ高住 10.0% (特定施設除く) 14. 軽費老人ホーム 8.1% 15. グループホーム 19.4% 16. 特定施設 4.7% 17. 介護老人保健施設 11.8% 18. 介護医療院 7.6% 19. 特別養護老人ホーム 27.5% 無回答 4.7%
3, 8, 10	5, 6	7, 17	